

町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信

～ 事業所訪問 vol.6 ～

「両神林産加工株式会社」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。



左から森町長、今井社長

町長の見て・聞いて・話して

第6回の事業所訪問は、7月5日に両神林産加工株式会社を訪問し、今井敏夫社長にお話を伺いました。

両神林産加工(株)は、昭和22年(1947年)の創業当時、秩父の山々から豊富に切り出される丸太を製材し、住宅建築用・木材パレット・ウッドチップ等に加工することから始まりました。木材加工業を継続しながら、時代のニーズに合った事業展開を模索する中で、平成9年(1997年)に主力事業となるプレカット事業部を設立しました。

プレカット加工とは、木造住宅の柱や梁の継ぎ手、仕口を従来は墨付けに従って手工具で加工していたものを機械で行う技術であり、木造住宅の設計から木質建材の加工まで、すべての工程がコンピューター化されていました。

1万㎡の広い敷地内には、住宅の設計資料により指定された材料を1本1本拾い集める作業現場やプレカット加工作業場があり、加工完了製品はビニールで梱包され、一棟分の製品がまとめて管理されていました。



今井社長から生産工程の説明を受ける森町長

会社概要

代表者 代表取締役社長 今井敏夫

従業員数 47名(姉妹会社含む)

創業 1947年7月

所在地 小鹿野町両神小森524

電話 0494-79-1155

社員の地元の雇用率は高く、社員層が若く定着しているのは社長の社員への思いがあるからと感じられ、社員も業務に真剣に取り組んでいる姿があり、意識の高さを感じました。

先代から引継ぎ創業70余年、社員とともに地場産業にこだわり、常に未来を見据えた考えを兼ね備え、木のぬくもりのように地元をこよなく愛する企業であると感じました。

わが社の主力製品

わが社の主力事業部のプレカット生産工程は、木造住宅の平面図や立面図を元に加工データをCAD入力し、その情報をCAMに転送して、自動的に切削することで加工精度の高い柱や梁、羽板材等を生産することができます。主に埼玉県の手住宅建築事業者のプレカットを扱い、1カ月あたり25棟から30棟分を生産しています。プレカット加工用の資材は内地材が多く、柱と柱の間に使う間柱や破風板はできるだけ秩父産の杉を使用しています。

ここに自信あり

町内には関連する姉妹会社があります。建築資材販売の日建木材株式会社、菓子製造業の秩父デザート株式会社などさまざまな業種において、互いに切磋琢磨しあい、地元密着型の事業を展開しています。秩父デザート株式会社では秩父産の食材を使った「秩父プリン」等の販売を行っており、姉妹会社と連携して、秩父産木材の活用促進のみならず、広く地元資源の活用に取り組んでいます。



写真上:木拾い作業

写真下:プレカット加工は使用目的別の機器で全てコンピューター制御により全自動で稼働しています。